

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月2日		記入者		連絡先	2715
平成18年度部名	経済部		課名	観光振興課	課長名	柳川 勝
平成19年度部名	経済部		課名	観光振興課	課長名	柳川 勝
事務事業名	観光宣伝事業（観光施設めぐり事業費）					
予算上の事務事業名	観光宣伝事業費					
1 総合計画における位置づけ				施策コード	35210	
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政策名	第5章 輝き魅力あるまちづくりを進めます					
基本施策名	第2節 観光の振興と余暇対策の推進					
施策名	第1施策 魅力ある観光資源の整備と情報発信					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	なし					
3 個別計画の概要				概要		
計画名	相模原市観光振興計画			計画中、基本方針2 「都市型観光のネットワークづくり」の中の「観光スポットを活用したイベント、キャンペーン等の開催」を推進するもの。		
計画年次		年度～	年度			
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント ▼			5 事業開始年度	平成18年度 ▼	
6 事業概要						
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）				(2) 対象（誰、何）		
合併により新市の新たな観光資源として加わった津久井地域の自然、文化、歴史等を市民へ紹介するとともに、新市エリアを実感してもらうため、バスツアーを実施する。				市民		
(3) 平成18年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。						
「さがみはら観光バスツアー」の実施。（広報紙で参加募集を行い、応募者多数の場合は抽選とする）						
年8回開催 ・津久井方面：尾崎弔堂記念館、宮ヶ瀬湖、鳥居原ふれあいの館、いやしの湯 ほか						
・相模湖方面：小原本陣、相模湖 ほか						
・城山、藤野方面：城山かたくりの里、谷ヶ原浄水場、藤野やまなみ温泉、藤野芸術の家 ほか						
平成18年 6月29日 参加者人数40人（津久井方面）						
平成18年 8月29・30日 参加者人数各40人（相模湖方面）						
平成18年 9月29日 参加者人数40人（津久井方面）						
平成18年11月29・30日 参加者人数各33人（津久井方面）						
平成19年3月29・30日 参加者人数各33人（城山・藤野方面）						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	市内施設めぐり					
8 事業費の推移	〔単位：千円〕					
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	1,269	1,194	0	
一般財源	0	0	625	550	0	
受益者負担金	0	0	644	644	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	0	341	341	0	
事業コスト合計	0	0	1,610	1,535	0	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 （主たる事業名）	観光施設めぐり事業			対象名称 と単位	参加者（人）	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト（主たる事業）	0	0	1,269	0	0	
対 象 数	0	0	292	0	0	
単位あたり経費（円）	#DIV/0!	#DIV/0!	4,346	#DIV/0!	#DIV/0!	
前 年 度 比		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	参加者抽選倍率（倍）	指標式と指標の説明	募集人数÷応募者人数×100 抽選倍率により市民の関心度、ニーズを見る		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	15.3		
目標	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	153.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	再度津久井地域を訪れたいと思った参加者（％）	指標式と指標の説明	再訪を希望する人数（アンケート結果より）÷参加者人数×100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	66.4		
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	66.4		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価〔A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない〕					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価〔A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない〕					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価〔A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い〕					
C	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
有	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
〔 〕：良好な状態を維持する事業					
〔 〕：概ね良好な状況である事業					
〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		当初より新市PR事業という性質であることから、平成19年度をもって目的を達成し終了する予定である。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
			市主催事業は終了するが、合併により、津久井地域を知ることについて市民の関心が高いため、観光協会を含めた民間事業者による観光バスツアーを実施すべく、現在、調整中である。		
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		民間事業者等による実施を含め、事業のあり方を検討す	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			